



新酒の味や香りを確かめる参加者ら＝岐阜市柳ヶ瀬通のホテルグランヴェール岐山で

新設の純米吟醸「蓬莱」が知事賞
 県新酒鑑評会
 県内の酒造場で造られた日本酒の新酒を味わう県新酒鑑評会が十一日、岐阜市柳ヶ瀬通のホテルグランヴェール岐山であり、酒造業者ら約百五十人が味や

香りを確かめた。

県酒造組合連合会が主催。今回から「純米吟醸」部門が新設され、「吟醸」「純米」「本醸造」と合わせた四部門となった。三月二十二日に審査会が行われ、県内の二十七社が百二十点を出品。この日は入賞銘柄二十四点を含む六十七点が展示された。

昨秋収穫された原料米は産地によって特徴の違いが大きく、各社とも扱いに苦心したというが、連合会技術顧問の苅谷幹治さん(笑)は「一、二月は低温に恵まれ、香りが高い、きれいなタイプの酒ができた」と話した。

(井上仁)

◇主な入賞銘柄
 【県知事賞】▽純米吟醸

「蓬莱」(飛騨市・渡辺酒造店)▽吟醸「奥飛騨」(下呂市・奥飛騨酒造)▽純米「花美蔵」(川辺町・白扇酒造)▽本醸造「百春」(美濃市・小坂酒造場)【県議長賞】▽純米吟醸「玉柏」(八百津町・山田商店)▽吟醸「四ツ星」(高山市・松坂酒造店)▽純米「純米酒天領」(下呂市・天領酒造)▽本醸造「久壽玉正宗」(高山市・平瀬酒造店)